

家業を継ぐ予定ではなかった。

自分は、次男なので跡継ぎは考えていませんでした。東京で通販の会社に勤めていましたが、父親に呼び戻されて、家業をついだわけです。

今は、通信販売を担当しています。

若い世代の人達の中には、蜂蜜とは縁遠いという人も少なくありません。馴染みのない人達にも蜂蜜の美味しさや、健康的な部分を知ってもらいたいと思っています。

蜂蜜そのものだけでなく、ジュースからパンそして飴まで・・・加工すれば用途は広がり、より多くの人に蜂蜜を使ってもらう機会が増えます。これからもっと色んな人に蜂蜜やミツバチ、自然の素晴らしさを知ってもらいたいです。



ミツバチは刺さない!?

皆さん、「ミツバチ」イコール刺されるというイメージがありますね。でも、実はこちらから威嚇しなければ大丈夫なんです。よく人間が直接、花の蜜を取ればいいのかと云われますが、一つ一つの花には、ほんの微量の蜜しかないんです。ミツバチは約 10g の蜂蜜を集めるのに、おおよそ6万回も花を訪れているんです。人間がそれを集める手間より、ミツバチにお願いをして、たくさんの蜜を集めてもらうほうが合理的なんです。

折角集めた蜜を蜂から取り上げるのは、かわいそうじゃないかって言われますが、実は、蜜をとったあとには、ちゃんと甘い汁を蜂たちにあげているんです。

仲間が戻ってくるまちだから頑張れる

みかんの生産が盛んな三ヶ日町では、小さな時から、みかんの花が咲く時期になると、玄関からみかんの甘いにおいがするんです。皆それを思い出すのでしょうかね。今、三ヶ日町には県外に出ていた若い人達が戻ってきています。だから、ちょっと外に出れば、「おい」と声を掛け合うことが多いですね。このコミュニティの狭さが、安心感になっています。これが、三ヶ日の住みやすさですかね。



そして、人を思いやる心、細やかな気配りが、僕達「ぶんぶんファミリー」のテーマです。最近、地元の幼稚園や小学校で、はちみつ勉強会も計画しています。

子どもたちと話していると、こっちがワクワクします。子どもたちからエネルギーがもらえるんです。社内には、蜂蜜のマイスター制度もあり、社員一丸となって意欲的に取り組んでいます。

これからも、新製品をどんどん開発していきますよ。